

四万十公社第4期（平成27年度）

事業報告

【公益目的事業：ケーブル事業（指定管理）】

■加入状況

区 分		平成 26 年度末	平成 27 年度末	前年度比
基本 サービス		7, 2 5 7	7, 3 5 1	9 4
	うち休止	1 4 2	1 9 4	5 0
ネット	1 2 8 K	7 0 1	6 7 0	▲ 3 1
	3 0 M	1, 8 4 8	2, 0 8 1	2 3 3
	1 0 0 M	2 0 2	2 2 5	2 3
S T B		1, 3 5 3	1, 3 0 8	▲ 4 5
	レンタル	7 4 3	2 3 5	▲ 5 0 8
	以外終了	2 9 2	7 7 2	4 8 0
	買 取	3 1 8	3 0 1	▲ 1 7
有料放送	ファミ CH	1, 3 3 6	1, 2 9 3	▲ 4 3
	ペイ CH	7 8	7 3	▲ 5
I P 電話		1 5 8	1 5 4	▲ 4

■工事件数

- ・ O N U 工 事 : 2 9 4 件 (新規 141 件、移転 63 件、撤去 78 件、交換 12 件)
- ・ 障 害 工 事 : 5 2 件 (断線、機器故障、小動物等)
- ・ 電力柱移転工事 : 1 3 1 件
- ・ N T T 柱移転工事 : 1 2 4 件
- ・ 受注による移転工事 : 4 9 件
- ・ 部品交換工事等 : 9 4 件 (ONU 部品交換、現地調査等)

【平成27年度重点項目】

①放送設備の更新計画案作成

役場企画課と協議を行い、平成50年度までに予定される放送通信設備の更新計画案を作成した。

②番組制御設備の更新計画案作成

番組制御設備の更新計画案を作成し、町による調達が行われた。平成28年3月31日より新設備での運用を開始した。

③自主放送番組の充実

要望が多かったグルメリポートを地域おこし協力隊の協力を得て実施。また、近隣ケーブルテレビ局との協力体制強化として、台地祭り生中継（平成27年11月7日、よさこいケーブルよりスタッフ2名）を行い、奥四万十博オープニングセレモニー生放送（平成28年4月10日）を共同で行うための準備を行った。

■高速インターネット：256件増

■四国コンテンツ映像フェスタ2015への参加：本年度参加者なし

■マルチコプターの運用に係る事業：運用規則の策定、改正法に基づいた運用を開始

■広告放送の運用：静止画広告8件

1. 登録有線一般放送の放送番組の提供に関する業務

1) 自主放送に関する業務

自主制作番組として、四万十放送室（地域のニュース）、四万十うおっちゃんぐ（情報・企画番組）、運動会や祭り等、地域の行事を収録した特別番組を放送した。

また、高知県内他所の情報等を提供するものとして、以下の他局番組を放送した。

Kochi on TV（情報番組、高知ケーブルテレビ）

すわんふいっしんぐ（釣り番組、西南地域ネットワーク）

高知 釣り Doki!（釣り番組、香南ケーブルテレビ）

ショップチャンネル（通販番組、ジュピターショップチャンネル）

2) 有料放送に関する業務

有料放送番組として、四万十ケーブルテレビ加入契約約款（以下、約款という）別表第2に記載された番組を提供した。有料放送サービスの利用希望者に対しては、約款にもとづいた手続きを行い、セットトップボックスの販売及び貸与を行った。

2. 町及び公的機関の情報の提供に関する業務

1) 行政放送

町の広報誌や町の取り組みと連動した番組制作について技術的支援を行った。また、宅老所や消防団など町の助成を受けて活動している団体の紹介や、町立施設の紹介などに取り組んだ。

番組制作に際しては、台本作成は町役場各課が行い、撮影、編集等を公社が担当した。月に3番組の制作を行い、番組進行は地元住民によるボランティアキャスターが担当した。

- ・各課紹介、学びの時間、40010のたから、四万十お達者体操など50本を制作

2) 議会中継及び再放送

撮影、音声、字幕表示のオペレート業務を行ったほか、録画、再放送に係る業務を行った。

- ・町議会定例会および臨時会を7回(21本)生放送し、同日夜および同週末に2回の再放送を行った
- ・高知県議会定例会を5回(32本)生放送および録画放送した

3) 文字放送

文字放送を利用する各団体が発信する情報を的確に放送されるよう技術的支援を行った。

- ・公共的団体から毎日概ね10本程度の入力があった

4) データ放送

ケーブルテレビからのお知らせは、番組内容を掲示する他、スタッフによるコメントを掲示。また、「タウン情報」、「お誕生」、「お悔やみ」については、町と協議のうえ関係機関と調整を行った。

- ・機器リプレイスに向けて、利用者アンケートでの認知度調査を実施
- ・平成28年度に予定される文字放送、データ放送、L字放送関連機器のリプレイスに向けた協議を行い、四万十町平成28年度当初予算に当該費用が計上された

3. 緊急情報の提供に関する業務

災害対策に係る町の対策体制配備と連動し、災害放送に対応する人員体制を整えた。

また、町が実施する防災訓練への参加や、緊急時の放送訓練を行った。

- ・公共情報commons訓練に合わせて緊急放送訓練を実施(平成27年6月3日)
- ・海川監視チャンネル(112ch)に屋外音声告知スピーカーの音声を流す運用を開始(平成27年7月15日)

4. 町民が自主的に取り組む映像制作の支援及び表現機会の提供に関する業務

町民が地域コンテンツを制作し、ケーブルテレビを利用して放送できる環境を提供するとともに、表現方法等の技術支援を行った。

- ・投稿数175件

1) 番組特派員

町民に携帯端末等で撮影した家族の出来事、お知らせ、身近な風景などの動画を投稿してもらい、「モバイル&ムービー」番組枠で紹介した。

2) 住民ディレクター

自ら企画・撮影・編集し、パッケージ化したものを投稿する、技術的に向上した「番組特派員」。

5. 番組制作に係る取材、編集及び収録並びに番組映像の保管と公開に関する業務

1) 自主放送番組制作に係る業務

コミュニティ放送としての特徴を活かし、「四万十町らしさ」を感じることでできる多様な番組を編成し、多くの人から愛され頼りにされる放送を目指した。特に要望の多い「食」や「農業」をテーマにした番組作りに努め、農協などの関係機関と連携を図った。

(1) 四万十放送室

・ 86 本放送 (トピック数 353 本)

(2) 四万十うおっちゃんぐ

・ 55 本放送

・ 運動会特集 (9 月より)、るるぶら (下道地区、古城地区)、地域おこし協力隊と連携した番組制作 (5 本)

(3) モバイル&ムービー

・ 45 本放送

(4) マルチコプターの活用

・ 危機管理課と連携し、興津地区での避難ルート調査への活用を検討 (実地テスト 3 回実施)

・ 改正航空法への対応と運用 (四国内総括申請、各イベント毎の申請)

(5) 特別番組等 (長尺・生放送・他局番組含む)

・ 36 本放送 (駅伝、高等学校野球大会、投稿番組など)

・ 生中継：窪川花火大会、台地祭り

2) 番組映像の保管と公開に関する業務

放送終了後に、放送年月日、放送内容等をテキスト化し、映像とともにアーカイブ化。一部映像は、ネット配信 (見逃し番組、運動会の長時間版等を通信契約者限定配信) を実施。過去に放送されたものについても、遡及的にアーカイブ化を実施した。

映像アーカイブの対象番組は、以下のとおり。

- ・四万十放送室
- ・四万十うおっちゃんぐ
- ・特別番組等
- ・行政放送
- ・モバイル&ムービー
- ・議会放送
- ・その他汎用性の高い素材データ

6. テレビ及びラジオ放送の再送信に関する業務

- ・地上デジタルテレビジョンの再送信
- ・衛星テレビジョン放送の再送信
- ・ラジオ放送の再送信
- ・有料番組放送の再送信

放送の再送信に関する業務は放送法第11条にもとづき下記の内容の業務を行った。

- ・各事業者再送信同意に係る業務
- ・日本ケーブルテレビ連盟への報告業務
- ・各著作権団体への報告業務
- ・番組配信会社への報告業務

7. ケーブルインターネットサービス等の通信に関する業務

1) インターネット接続サービスの提供

低速コース128K、高速コースとして30M、100M、3つのコースでインターネット接続サービスを提供した。加入者には、無料メールアドレス（全コース）、無料サポート（高速コース加入者のみ）を提供した。インターネット回線を利用する有料サービスとして、以下を提供。

- ・メールアドレスの追加
- ・メール転送サービス
- ・ホームページスペースの利用
- ・固定IPサービス
- ・IP電話の利用
- ・メールアドレスの変更

2) Wi-Fi 環境の整備

フリースポットの拡張を平成25年度より開始し、平成27年度末時点でケーブルテレビが設置したフリースポットは26箇所。公的な場所には、町が別途フリースポット設置を継続中。

顧客サービスとしてフリースポットを設置する可能性のある店舗等については、一定の設置数に達した。

8. 広告放送に関する業務

生放送等の特別番組内にて、協賛を募り社名や商店名を紹介する取り組みを行った。

- ・ 窪川花火大会の生中継にて静止画広告を放送（3社）
- ・ 年末年始特別編成にて静止画広告を放送（5社）

9. 情報施設の利用の承認、休止、停止等に関する業務

放送通信サービスの加入申し込み、利用休止及び再開、利用停止及び脱退について、約款にもとづいた手続きを行った。

10. 情報施設の加入に係る加入金及び利用に係る使用料等の徴収に関する業務

1) 加入金・利用料徴収及び未納者対応

約款にもとづいて加入金徴収の手続きを行い、料金未納者に対しては、以下のとおり対応した。

- ・ 2カ月分の料金未納者に対して、当月まで3カ月分の料金振替案内を通知する
- ・ 3ヶ月分の料金振替ができなかった利用者に対し、3カ月分の料金の現金による納入期限を電話で案内し、期限までに納入されなかった場合は停波する旨を伝える
- ・ 3カ月分の料金未納が確定した加入者に対し、放送通信を停波する。

2) 契約内容の確認通知

利用者に契約内容の確認通知を行った（平成27年10月26日）。

11. 情報施設の維持及び管理に関する業務

1) 放送通信設備の維持及び管理

清掃、備品管理及び定期的な保守点検を行い、適切な維持管理を行った。保守点検の対象は以下のとおり。

- ・ 空調機
- ・ 放送編集室
- ・ スタジオ室
- ・ 映像コンテンツ管理室
- ・ ヘッドエンド室
- ・ 消防防犯設備

2) 伝送路設備の維持及び管理

伝送路設備の維持管理については、伝送路監視システムによる常時監視を行った。障害等発生時には、担当職員へメールが自動通知され、担当職員による状況確認の後、工事業者への作業依頼等、復旧までの作業を行った。障害等につながる可能性がある支障木を発見した際には、伐採するなどの予防措置をとった。

電力及びNTT柱の共架料及び添架料、自営柱敷地料の支払いを行った。

柱の移転等により工事が発生し経路が変わる場合や、新たに伝送路が設置された場合は、伝送路監視地図の修正を行った。

- ・川渡し幹線を対象とした予防措置実施（昭和、秋丸、根元原）
- ・川渡し幹線を対象とした危険箇所調査実施（候補箇所 53 件中 16 件）

3) 障害発生時の対応

放送及び通信に障害が発生した際には、速やかに必要な措置を講じ、町を含む関係者に障害の発生を通報した。台風等の災害発生時には町の対策体制配備と連動し、障害に対応する人員体制を整えた。

- ・町の災害対策体制と連動して人員を配置（平成 27 年 7 月 16 日、8 月 24 日）

4) 取替修繕管理台帳の更新

情報施設等で使用される機器等の構成に変更があった場合は、速やかに取替修繕管理台帳を更新した。

5) 通信設備の更新に係る業務

通信設備の更新に際して、町へ情報提供など必要な業務を行った。

- ・機器等リプレイス計画案（平成 27 年度～平成 50 年）を町と協議のうえ作成
- ・通信システム切り替え作業実施（平成 27 年 11 月下旬、各地区深夜に停波発生）

1.2. 事業の広報、宣伝及び利用促進に関する業務

ケーブルテレビの放送・通信サービスを宣伝、提案するとともに、利用者への支援サービスを行った。

1) 広報宣伝活動

自主放送番組を通じての広報宣伝を行うとともに、番組表でも告知、注意事項等を掲載した。

- ・有料番組告知、利用料引落としのお知らせなどについてフィラー映像を活用
- ・平成 28 年度上半期番組表に光ケーブル移設等への注意喚起掲載

2) 放送・通信サービスの利用促進

(1) キャンペーンの実施

通信設備リプレイス実施のため、高速コース加入者増を目的としたキャンペーンは行わなかった。

みのがし視聴サービスをインターネット上で提供し、高速コース加入促進を図った（視聴動画数約2万件、ユニークユーザー数約1,500件）

(2) 出張窓口の開設

育児休暇中による職員1名減状態のため、本年度実施は困難と判断した。

(3) アンケート調査の実施

契約内容の確認通知に合わせて、利用者を対象としたアンケート調査を行い、サービスの向上に役立てた。データ放送の認知度調査項目を新たに設定した。

13. 放送番組審議機関に関する業務

放送番組審議会を開催に際して、放送実績等の資料を作成した。

- ・ 四万十町ケーブルネットワーク放送番組審議会開催（平成27年10月9日）
- ・ 四万十町ケーブルネットワーク放送番組審議会開催（平成28年3月10日）

【公益目的事業：地域情報センター】

【平成27年度重点項目】

①町への提案と受託業務

情報センターで蓄積した地域情報をもとにした各種事業の企画提案を行い、事業を受託した。

【受託】

- ・移住促進 PR 映像制作
- ・合併 10 周年記念式典（パンフレット制作、四万十町紹介映像制作）
- ・観光客誘致用 PR 映像制作

【提案】

- ・イベント用四万十町紹介映像制作（星空をテーマとして）
- ・教材用映像制作（自然をテーマとして）
- ・その他（映像制作数件）

②地域活動への協力

- ・撮影した花取り踊りの様子を、次世代への教則と保存を目的に提供（井崎地区）

■町内各所の景観撮影とインターネット投稿：13ヶ所

■オーラルヒストリー収集：4人

■秋祭りの記録：13ヶ所

1. 地域情報データベースの運用

収集されたあらゆる情報の入れ物としてのデータベースとして、また、情報を検索し利活用できるウェブサイトとして、情報検索システムの運用を行った。

2. 地域情報の収集、編纂、提供

収集し、データベースに登録された情報を材料に、新たな情報として編纂し、まとまりをもった情報や時事性のある情報を自主制作番組等で提供した。

1) 自主放送の映像アーカイブ

ケーブルテレビ事業で行う映像アーカイブを対象に、番組内容等の文字情報を付加し、地域情報として充実させた。

2) 各放送局の情報番組等の調査

地域ニュース及び情報番組を中心に全録画し内容を確認、目録化を行った。対象チャンネルは、NHK 総合、高知放送、テレビ高知、さんさんテレビ、愛媛朝日。

3) 自主放送番組のネット配信

ケーブルテレビ事業と連携し、放送終了後一定期間自主放送番組が視聴可能な「みのがしうおちんぐ」を運用した。合わせて「スタッフ・ブログ」の運用も行った。

4) 町内各所の景観

町内の風景を中心に静止画および動画を蓄積し、収集した情報は、インターネット上に公開した。

5) オーラルヒストリー収集

歴史、技術、暮らし、文化などについてインタビューを記録した。

6) 秋祭りの記録

ケーブルテレビ事業と連携し、町内各所の秋祭りの様子を記録した。

3. 地域情報化の「お手伝い」としてサポート活動を行う

昨年度から引き続き、議員向け iPad 講習を実施した（平成 28 年 2 月 24 日）。

【収益事業：会館・公園事業（指定管理）】

【平成27年度重点項目】

①設備改修工事計画案策定

窪川四万十会館及び四万十緑林公園ともに開館・開園からすでに20年が経過している。設備保守業者から指摘を受けた部分や、経年劣化が進んだ箇所などについて、指定管理リスク分担表を基にした総合的な設備改修を目指す。平成27年度は、設備改修工事計画案を作成し、町と協議する。

- ◆年間の会館利用者数：14,862人（目標値：16,000人）
- ◆ホール利用回数：年間63回（目標値：年間60回）
- ◆多目的室利用回数：年間258回（目標値：年間300回）
- ◆自主事業実施回数：年間4回（目標値：6回）

1. 窪川四万十会館・四万十緑林公園の運営状況

本年度も指定管理に関する基本協定書に基づいて、窪川四万十会館（ホール、控室、多目的室）の利用拡大と事業内容の充実に努めた。

窪川四万十会館及び四万十緑林公園の管理においては、サービス向上の為、設備の経年劣化に進んだ箇所、また設備保守業者から指摘を受けた箇所など設備改修に向けて町と協議を行った。

また、運営については、自主事業への取り組みとして、次年度以降の補助事業等の申請を行い、窪川四万十会館を利用した自主事業については4回実施した。昨年に引き続き、映画「うまれる」第2弾の上映と手づくり市を併催した『CherCher2015』の他、文化庁の優秀映画鑑賞推進事業映画の上映。また、『高知県民が選ぶ映画ベストテン』に選ばれた「永遠の0」を上映した。

四万十緑林公園については、巡視等により遊具の不具合等の早期発見に努め、来園者が安心して過ごせる環境づくりを行った。

○別紙1：窪川四万十会館利用状況一覧表

○ホール自主企画事業

開催日	イベント名	入場者	チケット料金
06月14日	映画『永遠の0』	171人	一般900円・小中高生500円
09月05日	優秀映画鑑賞推進事業Ⅰ	50人	1日券600円・2日券1,000円
09月06日	優秀映画鑑賞推進事業Ⅱ	51人	
12月06日	CherCher2015	84人	一般1,000円・小中高生600円

○ケーブル番組制作との共同取り組みについて

開催日	イベント名	主催者	ケーブル放送枠
11月05日	窪川ブロック小中連合音楽祭	音楽主任会	企画番組枠
11月15日	窪川中学校吹奏楽部定期演奏会	窪中吹奏楽部	企画番組枠

02月04日	おもしろサイエンスショー	四万十町青少年 育成町民会議	企画番組枠
03月06日	四万十町社会ふくし大会	しまんと町社会 福祉協議会	企画番組枠

○ ボランティアグループ『ひびき会』への依頼イベント

開催日	イベント名	主催者
04月26日	歌謡ショー	きずな
06月07日	歌謡ショー	のばな
07月26日	歌謡ショー	ゆたか会
08月30日	歌謡ショー	咲
09月12日	芸能発表会前日準備	文化協会
09月13日	芸能発表会	文化協会
09月20日	歌謡ショー	丸山カラオケクラブ
11月13日	歌謡ショー	咲
12月29日	J A Z Zコンサート	山地高
1月31日	歌謡ショー	ゆたか会

2. 施設及び付属設備の維持管理に関する事項

本年度、重点項目にも掲げていたが、窪川四万十会館及び四万十緑林公園の経年劣化による設備機器の修繕を行い、その都度町と協議し維持管理に努めた。27年度設備機器の修繕について、未改善のため改修要請をかけている設備機器を次にあげる。

空調機器故障について

【設備機器】 空調機器

【故障日】 平成27年10月6日

【原因】 燃焼室の鋼管パイプ接続部が腐食し、数か所穴が開いた為、空調冷媒体が燃焼室に混入し冷房の性能が低下し故障。

【応急処置】 町と協議し、応急処置として鋼管パイプ接続部腐食部分を修繕（溶接）

【修繕日】 平成27年10月22日

【要請理由】 鋼管パイプ接続部付近は、経年劣化により鋼管部分の腐食が進んでいる。

応急処置で部分的に溶接をしているが、突発的に全体の腐食部分から穴が開き冷媒体が燃焼室に混入し冷房が利かなぬなる恐れがあるため、早急に改修工事を行いたい。

（会館の催し中に故障してもすぐに対応する事が出来ない。応急処置はできる限りの範囲で溶接したが腐食が激しく、今回は応急処置ができない改修工事以外の改善処置はないとの事。）

【法人部門】

【平成27年度重点項目】

① 中期経営計画（平成25年度～平成29年度）の「中間とりまとめ」実施

中期経営計画の3年目にあたることから実績をとりまとめ、計画に照らしあわせた評価を行った（平成27年10月22日、第4期第2回理事会において実施）。

また、インターネットの安心、安全な利用を啓発する「e-ネットキャラバン」（総務省）へ職員4名を講師登録し、研修受講。平成27年11月と12月に黒潮町内の小学校へ講師派遣を行った。

②事業継続計画（BCP）の見直し

事前対策の取り組みとして、防災訓練の企画、備品保管場所の見直し等を行った。また、大規模災害発生を想定し、断線した幹線の無線による応急措置についての調査研究及び復旧に必要なケーブルの確保について工事業者との調整を行った。通信設備の更新が予定されることから、公社の事業継続計画の見直しを行った。